



来年度における検討事項について

令和8年 2月17日（火）

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部

来年度における検討事項（案）について

① 新しい時代の学びを実現する学校施設における実践状況のフォローアップ[°]

- 現行の学習指導要領を踏まえてとりまとめた「これから的小・中学校施設の在り方について」（平成31年3月）のとりまとめから約7年、令和3年1月の中央教育審議会の答申を踏まえてとりまとめた「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告」（令和4年3月）の取りまとめから約4年が経過
- これらを実践するためのアイディアとして、「ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイディア集」（令和6年9月）をとりまとめたところ
- 次期学習指導要領の議論や、いわゆる高校無償化における高校教育改革など、令和4年以降に生じた事柄なども踏まえつつ、「新しい時代の学びの実現する学校施設」の現状を確認し、その実践状況の調査や新たな教育空間の整備による効果の検証等を行う

(深堀するテーマ案)

- ・「主体的・対話的で深い学び」に資する施設環境
- ・高等学校の特色化・魅力化に対応する施設環境
- ・児童生徒の多様性を包摂する施設環境（不登校児童生徒への対応など）

②当事者参画による学校づくりのプロセス整理

- 学校施設におけるバリアフリー化の次期整備目標として、当事者参画の実施を位置付けたところ（国のバリアフリー施策としても主要事項として位置づけ）
- また、バリアフリー化に限らず、学校施設整備においては、地域住民や児童生徒、教職員の声を聞き取りながら進めることも重要
- 「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業（令和3～5年）」等での成果も活かしつつ、学校施設ならではの当事者参画のプロセスを整理する

(参考)学習指導要領の改訂を受けた学校施設の在り方に関する検討について

令和8年度は、次期学習指導要領の改訂を踏まえた学校施設整備指針改定の検討準備段階として、これまでの学校施設整備における実践状況の評価や学校施設を取り巻く諸課題について検討を行う（学校施設整備指針改定の本格的な議論は、学習指導要領改訂の答申後に開始）

(学習指導要領改訂に向けた検討スケジュール)

令和6年12月25日 「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」諮問

令和7年9月25日 教育課程企画特別部会において「論点整理」とりまとめ

令和8年夏頃 総則・評価特別部会や各WGIにおいて検討した内容を、教育課程企画特別部会においてとりまとめ

令和8年度中 中央教育審議会として「答申」取りまとめ予定